

医療安全と質を保証する患者状態適応型パス(PCAPS)

H24 年度 PCAPS 研究会 中間シンポジウム

PCAPS の実装と臨床分析

プログラム

日時：2012 年 9 月 22 日 (土) 10:00 ~ 17:00 終了予定 (途中昼休憩 1 時間)

会場：東京大学 工学部 2 号館 213 号室

はじめに

臨床知識構造化手法 PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス) は、状態適応型介入という医療の本質を反映した臨床知識の構造モデルを提示している。その構造に基づき、現実の臨床プロセスを設計した知識コンテンツを開発することができます。それら知識コンテンツを標準化/電子化し関係者が利用できる条件を整えることで、効率的/効果的に臨床知識の再利用を実現することができます。PCAPS を活用することで臨床プロセスの実施記録が構造をもって残るため、これまでは困難であった分析が可能となり、多様な分析結果の活用につながります。これら一連の活用で、医療経営改善・臨床改善がすすみ、臨床知識コンテンツそのものの改善もすすみます。PCAPS は、「医療社会システム」を実現するためのコアツールです。

標準化・最適化された構造化臨床知識は、世に多くの知識が氾濫し、多様な知識・情報提供サービスがビジネスとして成立するなかで、安全・安心で豊かな社会の実現の基盤に組み込まれるべき、社会が真に求めている知識形態のひとつといえるのではないのでしょうか。

そうした社会ニーズを強く感じながら、PCAPS 研究会は壮大な構想のもとに開発研究を進めてきました。次年度には、臨床の叡智である「PCAPS 臨床知識コンテンツ」と「実臨床の場」をリンクし知識の再利用を実現するために開発された PCAPS-Administrator が実際の臨床現場で運用され始めます。われわれは、PCAPS-Administrator を通して作成される構造化サマリーデータを用いて多様な臨床分析を実現する PCAPS-Analyzer の開発を開始しました。PCAPS 臨床知識コンテンツを実際に運用することで、各医療領域の質保証されたチーム医療を遂行する臨床マネジメントシステムを実現できます。このような臨床の質マネジメントを地域・病院・診療所・在宅・介護施設等で実現させるため、多様な臨床知識コンテンツの整備と、臨床分析手法の開発が、PCAPS 研究会で進められています。

本シンポジウムでは、PCAPS 実運用研究、PCAPS 導入準備状況、PCAPS を用いた多様な臨床分析、また PCAPS が追求している医療の質改善を行う重要なしくみである質評価構造モデルと質評価指標に関する開発研究について、平成 24 年度の間報告をいたします。

PCAPS 研究会 代表：水流聡子  
顧問：飯塚悦功  
アドバイザー：棟近雅彦

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System : 患者状態適応型パス)

主催：PCAPS 研究会，東京大学工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

後援：PCAPS - IMT コンソーシアム

研究助成：平成 24 年度厚生労働科研第 3 次対がん総合戦略研究事業 (若尾班)

平成 24 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業 (中山班)

司会：水流聡子（東京大学）

**午前の部**

10:00-10:20

: 統括報告: PCAPS 研究の今と今後の方針

水流 聡子（東京大学）

10:20-11:00

: PCAPS 実運用研究報告

- ・ 脳神経外科領域での実装
- ・ 周産期 母体管理・新生児管理

名取良弘(飯塚病院脳外科)  
小口秀紀(トヨタ記念病院産婦人科)

11:00-11:30

: PCAPS 導入に関する研究報告

- ・ 聖マリア病院
- ・ 久留米大学病院
- ・ 禎心会病院

荒木昭輝(聖マリア病院)  
下川忠弘(久留米大学病院)  
伊東敏弘(禎心会病院)

11:30-12:00

: 地域連携システム・地域医療システムの設計・評価

- ・ 小児地域医療システム
- ・ 院内及び院外連携のための動脈硬化症管理システムの開発

本木隆規(葛飾医療センター)  
盛重邦雄(聖マリア病院)

~~~~~  
12:00-13:00 昼休み(60分)  
~~~~~

**午後の部**

13:00-14:45

: PCAPS 臨床分析に関する研究報告

- ・ 乳がん: 2011 年度検証調査結果
- ・ リンパ浮腫: 2011 年度検証調査結果
- ・ 循環器内科: 虚血性心疾患の臨床分析
- ・ 呼吸器内科: COPD 急性増悪時の介入方法
- ・ 腎臓内科: 2011 年度検証調査結果
- ・ リハビリ: 嚥下障害に対する介入方法の分析
- ・ 在宅看護: 看護計画導出の可視化と実装に向けて

青儀健二郎(四国がんセンター)  
作田裕美(大阪市立大学)  
盛重邦雄(聖マリア病院)  
茂木孝(日本医科大学呼吸ケアクリニック)  
藤井直彦(兵庫県立西宮病院)  
井手睦(聖マリア病院)  
佐野けさ美(スギメディカル株式会社)

~~~~~  
休憩(10分)  
~~~~~

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化(3)  
患者状態適応型パス [臨床知識の活用・分析]』(日本規格協会) 定価: 5,880 円(税込)  
飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著



14:55-15:55

：「がん診療プロセスの質評価 - がん診療体制の質評価システム開発 - 」 [パネルディスカッション]

- ・ パネルリーダー：
  - ・ 進行：飯塚 悦功(東京大学)
  - ・ パネル素材提示：水流 聡子(東京大学)
  - ・ がん医療の均霑化の観点から：若尾 文彦(国立がん研究センター)
  - ・ ガイドラインの観点から：中山 健夫(京都大学)
- ・ パネリスト：
  - ・ 矢野 真(日本赤十字社)
  - ・ 名取 良弘(飯塚病院)
  - ・ 青儀 健二郎(四国がんセンター)
  - ・ 吉井 慎一(ひたちなか総合病院)
  - ・ 吉岡 慎一(兵庫県立西宮病院)
  - ・ 小口秀紀(トヨタ記念病院)
  - ・ 秋山聖子(東北大学病院)

15:55-16:55

：臨床知識の構造化：ポスターセッション(ラウンド形式，1領域質疑込 10 分，途中で休憩 10 分)

ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。座長の方・発表者は開始 10 分前にはお集まりください。

ストリーム	座長：小口秀紀(トヨタ記念病院)
・ 乳がん：2011 年度 検証調査結果	青儀健二郎(四国がんセンター)
・ リンパ浮腫：2011 年度 検証調査結果	作田裕美(大阪市立大学)
・ 看護ナビ：看護ナビコンテンツの作成と活用状況	西田ひとみ(飯塚病院)
・ 在宅看護：看護計画導出の可視化について	佐野けさ美(スギメディカル株式会社)
・ 栄養：栄養食事コンテンツの作成	道脇幸博(武蔵野赤十字病院)
・ がん質評価指標：診療体制の評価	吉井慎一(ひたちなか総合病院)
ストリーム	座長：矢野真(日本赤十字社)
・ 腎臓内科：2011 年度 検証調査結果	藤井直彦(兵庫県立西宮病院)
・ 循環器内科：動脈硬化症管理システムの開発	盛重邦雄(聖マリア病院)
・ 呼吸器内科：喘息発作後の介入	蝶名林直彦・内山真木子(聖路加国際病院)
・ 服薬指導：COPD 増悪後の服薬指導管理	植田恵子・田村多真美(スギメディカル)
・ 在宅酸素：在宅酸素療法の導入・管理	酒井志野(帝人ファーマ)
・ 呼吸器内科：COPD 増悪時の訪問看護介入	山路聡子(群馬県看護協会)
ストリーム	座長：名取良弘(飯塚病院)
・ 手術：手術介入ロジック	藤本さとみ・成松慧(飯塚病院)
・ 脳外科：くも膜下出血	勝田俊郎(北九州医療センター)
・ リハビリ 1：PT, OT 領域の取り組み	江頭陽子・大塚渉・前田亮介(聖マリア病院)
・ リハビリ 2：ST 領域の取り組み	脇坂勇輝・大塚智恵・中島栄子(聖マリア病院)
・ 呼吸器内科：COPD 増悪後のリハビリ介入	長谷川信(群馬大学医学部付属病院)
・ 小児：判断・診断プロセスの可視化による診療の質向上	本木隆規(葛飾医療センター)

16:55

：講評

アドバイザー 棟近雅彦(早稲田大学)  
顧問 飯塚悦功(東京大学)



#### 【シンポジウム会場】

本会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室

ポスター会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室の廊下

研究会メンバー用昼食会場：工学部8号館7階 702号室・706号室・708号室

研究会メンバー・関係者用懇親会会場：『Bon Art』（Tel：03-3812-3212）

#### シンポジウム運営組織

代表	水流聡子（東京大学）	
アドバイザー	棟近雅彦（早稲田大学）	
顧問	飯塚悦功（東京大学）	
運営 スタッフ	< PCAPS 事務局 > 加藤 省吾（東京大学） 下野 僚子（東京大学） 大森 美保（東京大学） 小柴 研一（東京大学 共同研究員） 黒田 幸清（東京大学 学術支援専門職員） 佐藤 典子（東京大学 学術支援専門職員）	< 学生スタッフ > 阿部 徹（東京大学修士課程） 谷中 瞳（東京大学修士課程） 伊藤 怜史（東京大学工学部） 岡本昌也（東京大学工学部） 小林翔平（東京大学工学部） ポーシン（東京大学工学部）

問い合わせ先：

PCAPS 事務局

E-mail：Office\_PCAPS@umin.ac.jp

TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276

本研究事業 HP：<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

**注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPSは各種特許申請済みです。**